

令和2年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	公益財団法人としま未来文化財団	
施 設 名	豊島区立舞台芸術交流センター（あうるすぽっと）	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	27,284	(千円)
	公 演 事 業	21,239 (千円)
	人 材 養 成 事 業	821 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	5,224 (千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	子どもに見せたい舞台 Vol.14 おどる絵本 『そうべえのじごくめぐり』	8月8日～31日※	出演：佐藤誓 香取直登 ほか 演出・振付・出演：スズキ拓朗 原作：じごくのそうべえ	目標値	1,520
		あうるすぽっと(収録)※ Youtube 配信※		実績値	—※
2	木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』	10月22日～26日※	出演：内田慈 土屋神葉ほか 監修・台本：木ノ下裕一 演出：糸井幸之介	目標値	1,270
		あうるすぽっと劇場		実績値	822※
3	『その男、ピッグテイル』	11月22日～29日	作：秋之桜子 演出：寺十吾 出演：宮崎秋人 大藪丘 一色洋平 前島亜美 町田マリーほか	目標値	2,008
		あうるすぽっと劇場		実績値	1,143 ※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	「池袋演劇祭」大賞受賞劇団 育成公演	8月	新型コロナウイルス感染症の影響により延期	目標値	900
		あうるすぽっと劇場		実績値	—※
2	インターンシップ育成事業	10月～3月	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	240
		あうるすぽっと会議室		実績値	—※
3	観劇サポート講座	9月	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	120
		あうるすぽっと会議室		実績値	—※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	にゅ～盆踊り	11月1日～3月31日 ※	出演：近藤良平 コンドルズ ほか アートディレクター：森本千絵 WEB 展開による発表	目標値	6,180
		Youtube 配信		実績値	—※
2	としまおやこ小学校	11月7日～29日	講師：YORIKO 毎週土日、計8日間開催	目標値	256
		あうるすぽっと会議室		実績値	231
3	家庭で楽しむ！絵本読み 聞かせワークショップ	2021年3月	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	45
		あうるすぽっと会議室		実績値	—※
4	地域のサンタプロジェクト	12月22日	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	目標値	250
		あうるすぽっと ホワイエ		実績値	—※
5	みんなのシリーズ第5弾 「能でよむ～漱石と八雲 ～」	8月18日～9月22日 ※	演目：吾輩は猫である ほか2作 出演：安田登 玉川奈々福ほか 原作：夏目漱石 小泉八雲	目標値	450
		Youtube 配信※		実績値	—※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>1. ミッションに沿った事業運営</p> <p>下記のミッションに沿い事業運営をしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で申請 11 事業中、実施は6事業(うち計画通り実施1、規模縮小2、配信へ変更3)、1事業は延期、4事業は中止となりました。</p> <p>また、各事業をミッションに基づいた3つのビジョンに沿って整理しました。</p> <p>(1) ミッション:多くの劇場が集積する「演劇の街・池袋」の拠点として機能し、芸術文化を通して多様な人々が集い交流する「みんなの劇場」として、活力に満ちた豊かな地域社会の実現を目指す</p> <p>(2) ビジョン:</p> <p>『いどむ』舞台芸術作品の創造・発信を通じ 豊島区の発展と地域の活性化に寄与します。</p> <p>＝すぐれた作品を創造・発信し続けること</p> <p>事業名→木ノ下歌舞伎『糸井版撰州合邦辻』・『その男、ピッグテイル』・『能で読む～漱石と八雲』</p> <p>『つなぐ』地域社会の文化芸術及びコミュニティ活動に地域劇場として貢献します。</p> <p>＝地域で働き、暮らす人々のニーズ(鑑賞や発表)に応える「地域の公立劇場」であること</p> <p>＝地域住民の誇りであり拠り所であること</p> <p>事業名→子どもに見せたい舞台 Vol.14 おどる絵本『そうべえのじごくめぐり(じごくのそうべえ)』・『にゅ～盆踊り』</p> <p>『ひらく』多様な人々の交流や活性化を促進し社会的価値を醸成する。</p> <p>＝交流と多文化共生を推進し、社会的に機能する場であること</p> <p>事業名→『としまおやこ小学校』</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>1. 文化的意義</p> <p>コロナ禍で制約のある中、あうるすぽっととしては4年ぶりの演劇公演新作をプロデュースしました。</p> <p>2. 社会的意義</p> <p>障がいの有無、経済格差を越えて多くの方々が鑑賞できるスキームを構築し、継続事業として展開しています。</p> <p>3. 経済的意義</p> <p>助成金を得ることにより、アクセシビリティの強化、チケット料金の低減が可能となり「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念に直結する持続可能な実施体制を構築しています。</p> <p>4. 青少年の育成、障がい者等への取組内容</p> <p>オンライン配信事業に手話、字幕を取り入れるなどアクセシビリティ充実を図り、また地域の劇場との共催公演において観劇サポート付き公演を実施するなど障がい者等への取組重点課題として取り組んでいます。</p> <p>5. 地域住民の鑑賞活動及び文化芸術活動の拡大に資する取組状況</p> <p>豊島区民先行・割引を実施し地域住民を強く意識したチケット販売を行っています。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

目標・指標設定の考え方→劇場のビジョン・ミッションに沿って設定。目標達成度は以下の通りです。

1. 目標と成果

公演事業

(1) 多くの人々を対象とするための多岐にわたるジャンルの舞台芸術をラインナップする。

計画段階では、読み聞かせ、ダンス、伝統芸能(手話・字幕付き/連続読み)、子ども向けなど多岐わたりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、読み聞かせ、ダンスが中止となり、一部目標を達成しました。

(2) 新しい舞台芸術を創造し、レパートリー化し、絶えず人と文化との交流が積極的に図られる場となる。

『その男、ピッグテイル』にて、大型演劇公演を実施、またロームシアター京都と共催し木ノ下歌舞伎公演で観劇サポート付き公演を実施、人的交流、ノウハウの共有を図ることができ、目標を達成しました。

(3) 0才～高齢者まで全ての年齢層を対象とし、ニーズに合わせた分かりやす特徴を持った事業、複数の世代間に橋をかける事業をラインナップする。

0歳から観劇可能な「子どもに見せたい舞台シリーズ」がオンライン配信となったことで、より幅広い世代に鑑賞頂くことが可能となりました。すべて事業において、若い世代を中心とした全ての世代に向けて実施し、目標を達成しました。

(4) 本当のものに触れる機会をより多く提供し、舞台芸術を支える観客層のすそ野を拡げることを目指し、かつ事業においては、独自性を重視し、あうるすぽっとでなければ観ることが出来ない唯一のものを展開する。

全ての事業で上記を目標とし実施しました。オンライン配信が観客層のすそ野を拡げることが可能だったかという数値的検証ができず、目標を一部達成するに留まりました。

人材養成

新型コロナウイルス感染症の影響により申請3事業が中止となりました。

普及啓発

(1) いろいろな才能、期待、意欲を持つ様々な人が集まり、集まった人々が交感と協調を重ね、相互に関係する出会いを促す場を創出する。

(2) 誰でも参加できるプログラム、子ども、子育て世代など特定の世代を対象としたプログラム、参加することで達成されるもの、参加しさらに発展させる、さらにそれを発表体験するものなど、きめの細かい多彩なプログラムを展開する。

5事業中、計画通りに実施できた事業は1事業のみ、2事業は配信に切り替え、2事業は中止という現状となり、目標を達成することはできませんでした。

2. 主な指標と成果

(1) 新規プロジェクトの立ち上げ

4年ぶりに演劇の大型プロデュース公演を立ち上げましたが、その他は中止、延期が相次ぎ成果を上げることができませんでした。

(2) 日本の伝統芸能に触れる機会を提供する事業実施について事業全体に対する割合を増加させる。

【2017年度】21%【2018年度】32%【2019年度】40%【2020年度】自主企画公演10公演(開催事業)計28回中10回35%で前年度比は落ち込んだが、近3年平均水準を維持。(※配信形式は回数に含めず)

(3) 自主企画公演のキャパシティに対するチケット販売率を増加させる。

【2017年度】66%【2018年度】80%【2019年度】85%【2020年度】70%(フルキャパ5,023席/販売数3,517席/販売率70%)今年度は販売率増加は未達成となった。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

1. 事業期間

劇場として年間を通して事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容、事業期間ともに計画通りに進行できませんでした。

2. 事業費

(1)4年間の推移(劇場主催事業全体)

		事業費
H29	2017年度	63,431
H30	2018年度	76,837
H31	2019年度	56,328
R2	2020年度	105,687

(2)2020年度の予算・決算(助成対象事業のみ)

●支出	予算	決算	差額	●収入	予算	決算	差額
公演事業	56,508,000	59,070,116	-2,562,116	公演事業	11,009,000	8,054,750	2,954,250
普及啓発	14,434,000	7,816,021	6,617,979	普及啓発	158,000	115,500	42,500
人材養成	2,364,000	0	2,364,000	人材養成	105,000	0	105,000
計	73,306,000	66,886,137	6,419,863	計	11,272,000	8,170,250	3,101,750

効率的経営を意識し、事業費抑制を意識しながらも芸術的成果を上げるための努力を継続しています。R2年度は新作公演プロデュースを実施したため事業費は過去年度より増加しています。また、助成対象事業においては、未実施または規模縮小事業が多く、支出・収入とも減少しており、通常年度とは大きく異なります。

3. 経営戦略

助成金などの外部資金の調達に加え、ここ3年で成果を上げているのは、チケット収益及び地方公演収入の増加です。ホームページリニューアルを始めとする広報戦略の見直し、集客力のあるキャスティングなどチケット収益を伸ばすためにあらゆることに取り組みました。

4. 総入場者数 4年間の推移(劇場事業全体)

		劇場	展示	合計
H29	2017年度	57,351	4,077	61,428
H30	2018年度	70,334	4,172	74,506
H31	2019年度	58,540	3,240	61,780
R2	2020年度	15,866	0	15,866

※2020年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、延期・中止、客席減、また配信に切り替えた事業などがあり減少しました。上記には配信再生回数は含みません。展示は中止のため、「0」となっています。過去年との比較が成立しませんが、アフターコロナ禍における取組への再考の重要性が明らかです。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

1. あうるすぽっとの機能

創造・発信型劇場として公演事業、人材養成事業、普及啓発事業を独自企画で実施、前述した劇場のミッション「みんなの劇場、あうるすぽっと」を上記3つの柱を連携させながら事業展開し、機能性を高めました。

2. 劇場の運営体制

舞台芸術交流センター（あうるすぽっと）は、指定管理団体であるとしま未来文化財団の一部署であり、劇場運営も財団内の組織決定の元、実行しています。

(1)運営責任者＝支配人1名(2020年4月現在 4年目)役割:あうるすぽっと事業の責任者

(2)芸術的内容に関する責任者＝チーフプロデューサー1名(〃 5年目)

役割:あうるすぽっと主催事業の企画立案、タイアップ公演の選定、貸館演目の事前調整などプログラミングの責任者

(3)舞台技術の責任者＝管理・技術マネージャー1名(〃 7年目)役割:劇場技術面及び劇場管理の責任者

上記に加え上記スタッフ8名がシフト制で勤務、舞台管理に関しては業者委託です。

3. 創造活動にかかわる建物設備等

アクセシビリティに特に力点を置いています。段差なく劇場内入場が可能、オスメイト付きトイレの設置など建物設備は整っています。

4. 企画内容、芸術性

(1)公演の特徴、工夫、戦略

多くの人々を対象とするための多岐にわたるジャンルの舞台芸術をラインナップすることを目指しています。広く門戸を開き、人々をお招きする場としての機能を充実させることを第一義とし、次に「みんなの劇場」として、0才～高齢者まで全ての年齢層を対象とし、世代を意識した事業を実施しています。また、個々の事業に関わるクリエイションスタッフ、アーティスト、出演者はその分野で注目され、期待され、将来を担う一流の方々に委嘱しています。独自性を重視し、あうるすぽっとでなければ観ることが出来ない唯一のものを展開し続けています。

(2)人材養成、普及啓発の企画内容の高さ、特色

地域の方々が観客として招かれる立場から、地域の住民として他地域の方々を招く立場になる、そのためには劇場をもっと知ってもらうことが必要という観点からあうるすぽっとスタッフ自身が地域住民と触れ合うことでより身近な劇場することを実践しています。また、文化施設で働くスタッフが障害を持つ方をお迎えする時のサポートを十分に対応できることを目標に掲げ、座学+実践講座を計画しました。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画通りに実施するはできませんでしたが、今後も特に普及啓発には力点を置き、区民に開かれた事業展開を目指します。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

5. 地域文化の発展

(1)ステークホルダーや地域のニーズ

豊島区の文化政策を推進するべく企画立案を実施しています。そのことによりステークホルダーや地域のニーズに応える事業となります。ただ、R2 年度は地域との交流プログラムを実施することができず、地域のニーズに応えることができませんでした。来年度以降の課題です。

(2)地域の実演芸術の振興

年間 20 日～30 日程度「区民シリーズ」期間を設定し、豊島区民団体が劇場を優先的に利用できるスキームを整備しています。今年度は、ほぼ中止となりました。

(3)地域の文化芸術の発展

豊島区民に向けた多世代に向けたワークショップ（あそぶ演劇ワークショップなど）の実施、無料で誰でもが参加できるイベント（にゅ～盆踊りなど）を毎年継続的に実施しています。今年度はほぼ中止となりました。



『にゅ～盆踊り』（WEB 展開へ企画を変更した盆踊りの舞台実演）

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

公共ホールとしてミッションを実現するために持続的に組織運営を進めるよう以下の取組を実践しています。

1. 人材面

(1)人事戦略

ア. 人事異動のローテーション: 内部職員が常に上位のポジションにつけるよう研修及び昇級試験(=採用試験)に挑戦するように指導しており、組織内でのキャリアパスを実践する仕組みとなっています。

イ. 人材配置の状況: 現在管理・技術グループ、制作グループと 2 グループ制ですが両グループの業務を横断してチーム制で事業を実施しています。これによりノウハウの蓄積、専門性の獲得、リーダーシップの取り方などを全スタッフが学ぶことが可能です。

ウ. 経営に関わる人材の育成状況: 劇場職員の誰もが経営に関われるよう指導し、予算管理、ファンドレイズなど劇場経営の仕組みを共有しています。

エ. 事業運営に関わる人材の育成: 上記同様です。適材適所を見極め、年ごとに育成職員を定め特に集中的に経営または事業運営を指導しています。

オ. 平均勤続年数: 5 年程度

カ. 正規雇用率: 職員 11 名はすべて(公財)としま未来文化財団所属、うち 2 名無期雇用転換済(定年 65 歳)他の 9 名は 5 年未満で現状は有期=非正規雇用です。便宜上、正規雇用率は現状 2 名 18%となっています。

キ. ボランティアの有無: ボランティア組織はなく、インターン研修生が期間限定で事業に関わっています。

2. 財務面

毎年助成金を確保、チケット収益も 2018 年度は前年比 3 倍、地方公演収益も加わり収益基盤は安定しています。

2020 年度は、客席制限もあり、前年度よりは減少しています。

事業収入・助成金収入の推移

●事業収入の推移

		チケット	地方公演	助成金	その他	合計
H29	2017	6,741,000	4,760,000	31,218,000	1,082,000	43,801,000
H30	2018	18,547,500	19,221,000	23,122,000	826,000	61,716,500
H31	2019	16,186,000	4,635,000	22,650,000	741,000	44,212,000
R2	2020	14,721,000	5,838,000	39,926,000	1,043,000	61,528,000

3. ステークホルダーとのコミュニケーションの方法・頻度

所管の豊島区文化商工部文化デザイン課とは日常的に報告・連絡・相談を実施の上、月例会議を実施しています。

地域 NPO、企業とは事業単位でオンライン MTG などを行っています。

4. 各方面とのネットワーク

各公共ホール、教育機関や地域企業、NPO などと連携しています。

5. 施設面

(1)建物や設備の回収や修繕、日常的な管理状況、投資状況

年間 20 日程度を保守点検日とし複数の専門委託業者とともに修繕実施、舞台管理委託会社が日常的に舞台機構の管理を実施しています。

(2)個別施設計画策定の有無

有 ・ 所管の豊島区文化商工部文化デザイン課と施設計画策定中です。